

交付金の継続求める

営業用車に政策的配慮を

近畿物政懇

近運局長井・自動車交通部長があいさつ



【佐藤新二】官労使による近畿地区物流政策懇談会(川端英治座長)が2日、大阪市で開かれ、運輸事業振興助成交付金制度の継続を求めていくことを確認した。

近畿運輸局自動車交通部の長井総和部長が「政権が代わっても、安全・安心を支えられるトラック産業を育てなければならぬ。経済状況は一気には好転しないが、意見を丁寧聞いて進めていきたい」とあいさつを掛けた。

度概算要求の内容や、運送原価に関する調査について、近運局自動車交通部貨物課の水田節男課長が説明。近畿トラック協会が先月実施した環境キャンペーンについては、電中中つり広告などを紹介した。

WebKIT

月間目標、3億円

大貨協連 事業委 利用拡大

【佐藤新二】大阪府貨物運送協同組合連合会は2日、事業委員会(亀井亮委員長)を開き、WebKIT事業大阪版の月間取り扱目標を3億円に設定することを決めた。

亀井委員長が「荷物の動きが悪化している。高速料金後納事業も運動し、利用量が減少。連合会運営を維持するため、取扱品目を増やすなど、実績を上げなければならぬ」とあいさつ。

一方、WebKIT事業大阪版は12%増加し、新たな収入源として始めた燃料等購入事業も順調に伸びている。これを受け、現在平均1億円のWebKIT事業大

セイコー運輸(宮高浩社長、大阪市住之江区)では、ホームヘルパーの資格を持つスタッフが作業を行う引越サービス「シルバー住むーぶ引越便」を展開。介護が必要な高齢者向け引越にターゲットを絞り、着

セイコー運輸

実に売り上げを伸ばしている。宮高専務は「市場規模としては小さいが、極めれば勝ち残ることができ。サービス内容に磨きを掛けていきたい」と意気込む。同社は、1981年に軽

高齢者むけ引越越し展開

貨物運送の会社として事業を開始。91年に一般貨物自動車運送事業の許可を取得し、チャーター便をメインに手掛けてきた。車両の稼働率を高め、売り上げアップにつなげよう

ヘルパー資格保有者が作業



を防ぐため、プラスチック製の透明な箱を採用。自社のPRとカレンダーを印刷したものをに入れて送り、介護施設の関係者に確実に読んでもらえるよう工夫し

(水野 正博)

事務 研修 投手 阪神 信支 支店 支店 ック

レール ガラ ラッ 3億 指す 後納 期比 35% 一方、 WebKIT 大阪版は 12% 増加し、 新たな 収入源 として 始めた 燃料 等購入 事業も 順調に 伸びて いる。 これを受け、 現在平均 1 億円の WebKIT 事業大